

各 位



平成 18 年 11 月 8 日

会 社 名 株式会社 ニッピ
代表者名 代表取締役社長 伊 藤 隆 男
(J A S D A Q ・ コード 7932)
問合せ先
役職・氏名 総務担当取締役 吉 原 道 博
電話 03-3888-6651

平成 19 年 3 月期中間期および通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 18 年 5 月 24 日に公表いたしました平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の中間期および通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期 中間期業績予想の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績予想の修正（中間期）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	18,000	400	400
今回修正予想 (B)	18,265	△282	△651
増減額 (B-A)	265	△682	△1,051
増減率 (%)	1.5	—	—
前期実績(平成 17 年 9 月期)	23,731	394	355

(2) 個別業績予想の修正（中間期）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	13,000	260	350
今回修正予想 (B)	13,033	287	66
増減額 (B-A)	33	27	△284
増減率 (%)	0.3	10.4	△81.1
前期実績(平成 17 年 9 月期)	12,594	229	363

2. 平成 19 年 3 月期 通期業績予想の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績予想の修正(通期)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	36,800	900	800
今回修正予想 (B)	37,000	350	100
増減額 (B-A)	200	△550	△700
増減率 (%)	0.5	△61.1	△87.5
前期実績(平成 18 年 3 月期)	46,061	809	931

(2) 個別業績予想の修正(通期)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	26,000	600	600
今回修正予想 (B)	26,200	630	300
増減額 (B-A)	200	30	△300
増減率 (%)	0.8	5.0	△50.0
前期実績(平成 18 年 3 月期)	25,615	365	402

3. 修正理由

(1) 平成 19 年 3 月期 中間期

(連結)

売上高に関しましては、概ね当初予想通りの金額となる見通しであります。

経常利益に関しましては、持分法適用関連会社である株式会社リーガルコーポレーションにおいて、事業再編に伴う多額の特別損失が発生し、大幅な損失計上となることから、持分法による投資損失約 664 百万円が発生するため、当初予想を下回る見通しであります。

当期純利益に関しましては、上記、および本日別途発表しております固定資産売却損等特別損失の計上により、当初予想を下回る見通しであります。

(個別)

売上高および経常利益に関しましては、概ね当初予想通りの金額となる見通しであります。

当期純利益に関しましては、上述の通り特別損失の計上により、当初予想を下回る見通しであります。

(2) 平成 19 年 3 月期 通期

(連結)

売上高に関しましては、当初予想通りに推移する見通しであります。

経常利益に関しましては、持分法適用関連会社である株式会社リーガルコーポレーションにおける上期の大幅な損失計上により、持分法による投資損失が発生するため、当初予想を下回る見通しであります。

また、中間期同様に、下期におきましても既存建築物の解体費等固定資産除却損等の特別損失が見込まれます。通期の当期純利益に関しましては、有価証券の売却等により損失を補填する予定ではありますが、当初予想を下回る見通しであります。

(個別)

売上高および経常利益に関しましては、当初予想通りに推移する見通しであります。

当期純利益に関しましては、上述の通り特別損失の計上が見込まれますので、当初予想を下回る見通しであります。

* 上記の予想は、本資料発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後さまざまな要因によって、予想値と異なる可能性があります。

以上